

CVT フルード劣化度確認

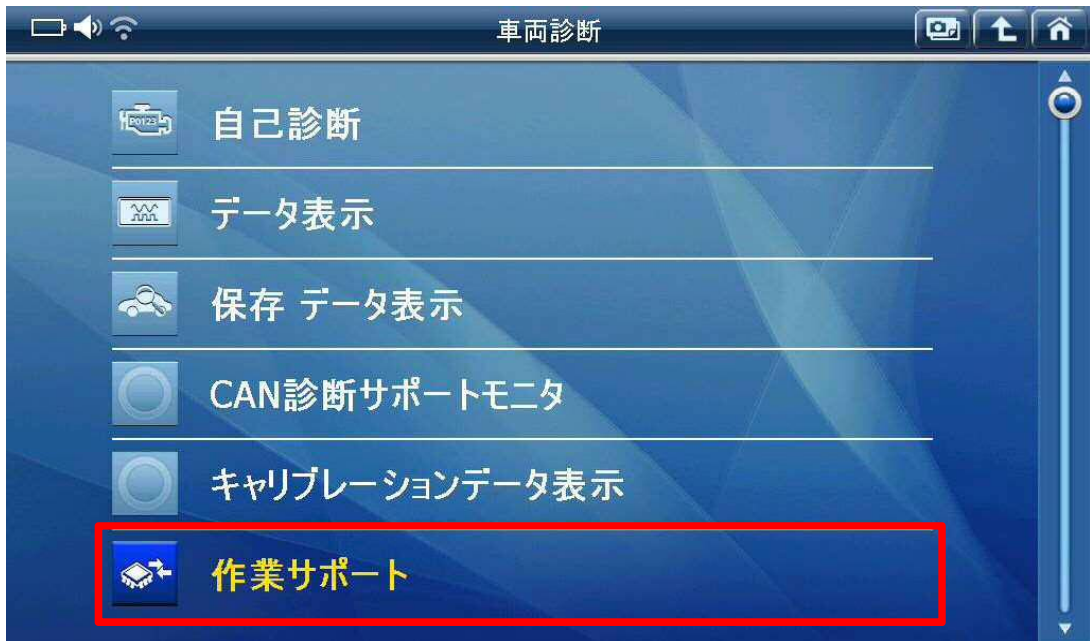
■適応車種

マーチ(K13)、キューブ(Z12)、セレナ(C25)等

以下に G-scan を使用した、『CVT フルード劣化度確認』の方法を記載しますので、参考にしてください。この作業では、シビアコンディション時の CVT フルード劣化度を確認し、一定の数値以上であれば、CVT フルードを交換するといった内容の作業となります。

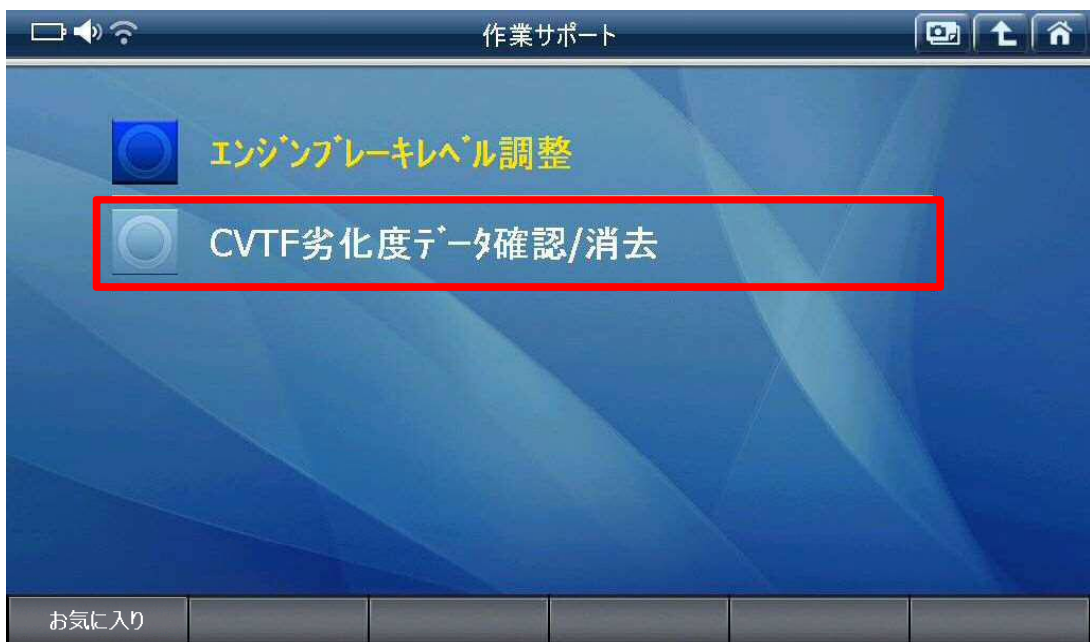
1. IG SW OFF の状態で診断コネクタ(OBD16 ピン)に G-scan を接続してください。
2. IG SW ON およびエンジン始動の状態で、G-scan の電源を ON にして車種、システムを選択してください。選択するシステムは『CVT』を選択してください。

3. 診断メニューが表示されます。『作業サポート』を選択してください。



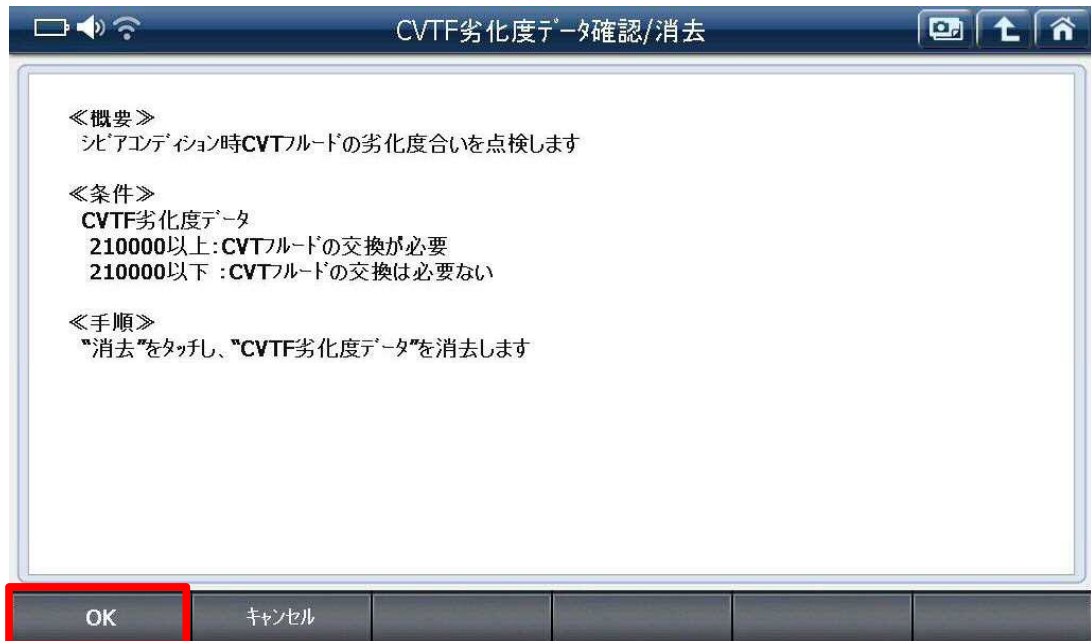
〈図: 作業サポートを選択〉

4. 『CVTF 劣化度データ確認/消去』を選択してください。



〈図: CVTF 劣化度確認/消去を選択〉

5. 以下の画面が表示されます。内容を確認し、『OK』ボタンを選択してください。



〈図: CVTF 劣化度データ確認/消去説明画面〉

6. CVTF 劣化度データ確認/消去画面が表示されます。CVTF 劣化度データを確認してください。

CVTF劣化度データ確認/消去

項目名(1/1)	現在値	単位
CVTF劣化度データ確認/消去	1247.0	

OK キャンセル 消去

〈図: CVTF 劣化度データ確認画面〉

7. CVTF 劣化度データが 210000 以上の場合は CVT フルードを交換してください。CVT フルード交換後は、CVTF 劣化度データを消去してください。手順 6 の画面で『消去』を選択して、『OK』を選択してください。CVTF 劣化度データが消去されます。

210000 以上 : CVT フルードの交換が必要

210000 以下 : CVT フルードの交換は必要ない